普賢岳山頂

普賢岳登頂成功、おめでとうございます。かつて、1990年に山の北東部で始まった噴火により溶岩ドームの平成新山（1,486m）が形成される前は、標高 1,359m に立つ普賢岳は半島の最高峰でした。普賢岳は、形成から 5,000 年経っていない比較的新しい山で、火山活動の最も盛んな山の一つです。1792 年に火山活動がさらに活発化した際、東側の山峰が有明海に崩れ落ち、推定 15,000 人の命を奪った津波が発生しています。普賢岳を中心に構える連山は雲仙岳と総称され、古代より神聖な地とされてきましたが、東側の面に位置した普賢神社は近年の噴火で埋もれてしまいました。よく晴れた日には阿蘇山や、時には 140 何 km 離れた、南九州の桜島から立ち上る火山の噴煙も見えます。